

# カレード 通信 Vol.62

2022年12月号

12月 December

日	月	火	水	木	金	土
				1 藪内正幸 原画展 (~12/25)	2	3 陶芸教室
4 藪内竜太 講演会	5	6 赤ちゃん おはなし会	7	8	9	10 陶芸教室
11	12	13	14	15	16 料理教室	17 陶芸教室 親子で絵本に 出てくる お菓子をろう
18 こども おはなし会	19	20	21	22	23	24 陶芸教室 クリスマス おはなし会
25 かがみ教室	26	27	28	29	30	31
年末年始休館(12/28~1/4)						

## 小澤館長のコラム Vol.18

「原画と絵画は違います」理由は「原画展を見ればわかります」

「藪内正幸原画展」は開館5周年記念イベントのクライマックスです。これすごいです。原画とは絵画のことではありません。そもそも人に見せるためのものではないので修正した痕跡や下描きの線もリアルに残っていて、少なくとも私は完成された絵画作品よりもずっと長く見ていられます。藪内氏は絵本の挿絵や広告用の絵を描いていたので完成した作品は基本的に印刷物です。その「完成品」と原画を比べてみるとその違いは歴然です。印刷したらこんなに安っぽくなってしまふのに何でここまで細かく描くのだろうかと、その職人気質に圧倒されます。例えば絵本だとしたら見るのは子供。だったらそこまで細かくなくても……と思うのは私のような素人。作家にもワープロを使わず手書きにこだわる人がいます。本になったらそんな分からないのに……とやはり素人の私は思います。そういえば私にもこだわっていることがありました！「Excelで計算したあと電卓で確かめる」ことです。ちょっと話が違う気がするし、ずいぶん程度の差を感じます。言わなきゃよかった。(つづく)

## 図書館展示情報

### 一般展示 冬を楽しもう

大人になると月日の流れはとてすばやく感じられるようになり「もう12月か…」と思いますよね。なにかと気ぜわしい印象の12月ですが、冬休みにほっこり楽しくなごやかにすごしてもらえたら、と願いをこめて…。



### 児童展示 もうすぐクリスマス！

子どもはもちろん、大人も楽しめるクリスマスの本を集めました！様々な本でクリスマス気分をぜひ味わってください！



このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色々な本と出会ってください♪

### YA展示 自分らしく、あなたらしく

12月4日～12月10日の「人権週間」に合わせて、野々市市では「同性パートナーシップ宣誓制度」の導入を進めています。これを機に、LGBTQへの理解から、「自分らしく生きる」ことへの関心をもてるような本を選びました。これからの未来を作るYA世代に読んでいただければ幸いです。



最新情報はコチラから！

↑Twitter

↑Facebook

## 年末年始 休館のお知らせ

下記の期間は図書館が休館となります。

**2022年12月28日(水)**  
**~2023年1月4日(水)まで**

※ブックポストへの図書の返却、インターネットによる図書の予約、電子書籍の貸出は、期間中も利用できます。  
※CD、DVD、大型絵本、他館から取り寄せた資料などは、**上記期間以外に窓口へ返却してください。**  
※貸出期間内であれば、インターネット上で予約・貸出延長処理ができますのでご利用ください。

図書館休館に伴い、下記の期間は貸出期間が**21日間(3週間)**となります。

貸出日	返却日
12月15日(木)	2023年1月5日(木)
12月16日(金)	1月6日(金)
12月17日(土)	1月7日(土)
12月18日(日)	1月8日(日)
12月19日(月)	1月9日(月)
12月20日(火)	1月10日(火)

この機会に、たくさんのお本と出会ってください♪

## 12月カレードイベント情報！

### 藪内正幸原画展

日時/12月1日(㊤)~25日(㊤)  
9:00~19:00  
※水曜日休館、入場無料  
会場/オープンギャラリー



動物画家として、図鑑、絵本、広告など幅広い分野で活躍した藪内正幸氏が描く原画作品約50点を展示。

【関連イベント】  
藪内竜太講演会  
「好きこそ物の上手なれ ~稀代の動物画家 藪内正幸~」  
日時/12月4日(㊤) 14:00~15:30  
会場/研修室・会議室 定員/70名(要申込、先着順)  
申込/ご来館もしくはお電話で

## 11月イベント報告

### 5周年記念イベント開催

11月はカレード5周年ということで、おはなし会や鷹狩ショー、人力発電新幹線など、様々なイベントを行いました。たくさんのご来場、ありがとうございました！



## 今月のおすすめ本

### 『医者の僕が認知症の母と過ごす23年間のこと』

著者：森田 豊 出版社：自由国民社 分類ラベル：493.75/㊤

現役医師でありジャーナリストとしてもメディアで活躍されている著者は、医師でありながら自慢の母親が認知症となり変わってゆくさまには一息子としてしか対処できず、家族任せであったばかりに症状の進行も抑えられなかった後悔と反省の気持ちを綴っています。優秀な医師であっても一認知症患者の家族のひとりではなかったのです。

これは年老いてゆく親を持つどの家族にでも起こりうる問題です。私も親の医療や介護をいろいろ経験してきましたが、不安を抱える家族にとっては医療者や介護従事者の方の人間性はとても大切な要素だと思います。介護とは、家族はもちろんいろいろな人たちの協力によって望むべき形を求めなければならないのでしょう。ぜひ参考にご一読してみてください。

(スタッフI)

こちらの本は、カレードと富奥公民館に1冊ずつ所蔵しています。